

# 日本理学療法士学会

## 部門の増加について

公益社団法人 日本理学療法士協会

この度、平成26年度 第7回理事会（平成27年2月8日開催）におきまして、日本理学療法士学会に新たに5つの部門を増加することが承認されました。

このたび登録会員を募集する準備が整いましたので、以下にその概要と主な対象についてご案内するとともに平成27年7月27日（月）正午より応募を開始いたします。

会員の皆様におかれましては、趣旨をご理解の上で、奮ってご登録をお願いいたします。

（登録は新人教育プログラムを修了している方が対象となります。複数の部門へ登録可、登録は任意）

### 1) 新設 5 部門の名称

ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法部門  
栄養・嚥下理学療法部門  
学校保健・特別支援教育理学療法部門  
がん理学療法部門  
動物に対する理学療法部門

### 2) 新設 5 部門の設立の概要

部門名	概要と主な対象
ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法部門	女性（男性）健康問題について、生物学的ならびに社会的な特性と役割、転倒、骨粗鬆、尿失禁、糖尿病/心疾患の性差医療などを理学療法視点で扱います。世界理学療法連盟サブグループの連携窓口になります。
栄養・嚥下理学療法部門	摂食嚥下ならびに栄養について扱います。脳卒中のみならず、虚弱高齢者、周術期の異化亢進状態での理学療法、糖尿病、代謝ならびに筋力増強に関する栄養についても対象とします。
学校保健・特別支援教育理学療法部門	スポーツ傷害ならびに生活習慣病を含む通常学級の児童生徒の発達過程における健康増進・管理を扱います。また、特別支援教育に関わる理学療法とともに、発達・高次脳機能障害を含む児童福祉法の改正に伴う障がい児支援に関する取り組みを含みます。
がん理学療法部門	がん患者に対するリハビリテーションにおける理学療法の役割のなかで、がんの特性に応じた理学療法、病期への対応、グリーフケアを含んだ内容を広く扱います。
動物に対する理学療法部門	小・大動物ならびに競技動物に対する理学療法、介助犬（動物）のトレーニングや普及・啓発、動物の比較運動学や疫学などを扱います。なお、動物を用いた基礎研究は本部門の対象ではありません。世界理学療法連盟サブグループの連携窓口になります。

### 3) 部門の特徴について

部門は、分科学会とは異なり、分科学会が担うことができないまたは明確に区分しにくい学術職能領域を補完し、理学療法に必要な啓発や各委員会の業務に協力するグループです。

そのため、独立して純粋なアカデミアを探究するものではなく、認定理学療法士制度や世界理学療法連盟サブグループと連携した活動など、職能的な結びつきを念頭に置いた性格をもちます。そのため、一定の期間でその形態や組織を見直されます。

したがって、分科学会やその他の部門と外見上の領域が一部に重複していることがありますが、それぞれ異なる役割をもっていることをご理解ください。

以上